

## 第三次長野市子ども読書活動推進計画庁内調査の進捗状況

### 1 庁内調査にあたって

#### (1) 庁内調査とは

長野市では、読書に親しむ環境の充実、家庭・学校・地域の連携の推進、普及・啓発活動の促進を基本的視点に、平成30年度に「第三次長野市子ども読書活動推進計画」を策定した。

計画では、目標となる指標の達成状況および具体的な取組の進捗状況について、毎年庁内調査を実施し、必要に応じ事業内容および手法の改善を図ることとしている。

本調査は、これに基づいて、計画に掲げた取組の進捗状況を検証するもの

#### (2) 点検の方法

【調査対象】計画に掲げる事業・取組等（計58事業）を担当する主管課または関係所属（計9所属）に調査を実施。

【調査項目】数値目標と具体的な取組について、5ヵ年計画の4年度目である令和3年度の実績と、現況・課題、今後の方向性を調査。

### 2 進捗状況（令和3年度実績）

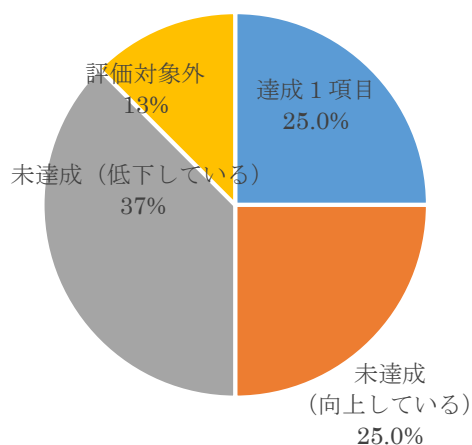
#### (1) 数値目標

指標8項目のうち、2項目で目標を達成し、2項目で目標に近づいている。

指標8項目のうち、2項目で目標を達成し、2項目で計画策定時の値を上回り目標に近づき、3項目で計画策定時の値を下回っている。

※No.2は、「全国学力・学習状況調査」の質問項目を指標としているが、R3年度は項目自体が無かったため、評価対象外としている。

数値目標達成状況



(達成状況) ◎…達成、○…近づいている、△…低下している

| No. | 担当所属                   | 指標項目                                              | 計画策定時<br>現状値<br>(H28 年度) | R4 年度<br>目標           | R3 年度末<br>実施状況        | 達成<br>状況 |
|-----|------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------|-----------------------|-----------------------|----------|
| 1   | 家庭・地域<br>学びの課          | 「おひざで絵本」事業<br>での絵本配布率                             | 92.1%                    | 96.0%                 | 87.7%                 | △        |
| 2   | 学校教育課                  | 読書を「好き」と答え<br>た児童・生徒の割合<br>(小6・中3)                | 小6 80.1%<br>中3 72.9%     | 小6 90.9%<br>中3 80.7%  | -<br>※                | -<br>※   |
| 3   | 学校教育課                  | 一日あたり読書時間<br>が「10 分以上」と答え<br>た児童・生徒の割合<br>(小6・中3) | 小6 65.5%<br>中3 50.7%     | 小6 68.5%<br>中3 53.7%  | 小6 63.5%<br>中3 56.8%  | ○        |
| 4   | 長野図書館<br>南部図書館         | 市立図書館における<br>児童書の蔵書冊数<br>(0～12 歳一人あたり)            | 209,482 冊<br>(4.89 冊)    | 227,482 冊<br>(5.96 冊) | 240,169 冊<br>(6.39 冊) | ◎        |
| 5   | 南部図書館<br>家庭・地域<br>学びの課 | 図書館分室における<br>児童書の貸出冊数                             | 20,830 冊                 | 21,730 冊              | 23,624 冊              | ◎        |
| 6   | 長野図書館<br>南部図書館         | 市立図書館おはなし<br>会参加者数                                | 2,610 人                  | 2,832 人               | 1,322 人               | △        |
| 7   | 家庭・地域<br>学びの課          | 読み聞かせを行う市<br>立公民館数(割合)※                           | 25<br>(86.2%)            | 29<br>(100%)          | 18<br>(62.1%)         | △        |
| 8   | 学校教育課                  | 「学校図書館図書標<br>準」達成学校数の割合                           | 小学校 96%<br>中学校 75%       | 小学校 100%<br>中学校 100%  | 小学校 100%<br>中学校 84%   | ○        |

※No. 2 は全国学力・学習状況調査の質問項目を指標としているが、令和3年度は項目自体が無かったため評価対象外としている。

## (2) 具体的な取組

具体的な取組 58 事業のうち、57 事業を実施した。

### ○未実施の事業について

- ・事業番号 49「博物館行事に合わせた読書イベントの開催」  
読み聞かせを行うボランティアグループが解散したため、今後も事業の実施は困難。

## 3 考察及び課題

### ○数値目標

- ・指標項目「読書を「好き」と答えた児童・生徒の割合（小6・中3）」について、「全国学力・学習状況調査」の質問項目を指標としているが、令和3年度は項目自体が無かったため、調査対象外となった。次計画策定時は、長野市として把握できる指標項目を設定する。

### ○施策1 家庭における子どもの読書活動の推進

- ・事業番号1「おひざで絵本事業の推進・充実」については、令和2年度と比較し、配布率が増加した。（R2:86.3%→R3:87.7%）新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本を配布する7～8か月児健康教室が中止になったことから、例年よりも配布率が下がっている。ICTの活用及び子育て世帯を対象としたイベント等での事業の周知を継続して行っていく。【家庭・地域学びの課】

指標1：「おひざで絵本」事業での絵本配付率

- ・事業番号3「家族の関わりを促進するための啓発活動の実施」（新規）については、市立図書館において「おはなし会」や「おたのしみ会」を開催したほか、親子の学びを目的としたイベント「親子わくわくフェスタ」において、テーマに沿ったおすすめ本パンフレットを作成・配布した。市民のニーズに合致し、かつ、読書の楽しさを伝える取り組みとしてより効果的な啓発活動を検討し、引き続き事業を推進していく。【家庭・地域学びの課、市立図書館】

### ○施策2 教育・保育施設等における子どもの読書活動の推進

- ・事業番号8「保育士・幼稚園教諭等職員及びボランティアによる読み聞かせの実施」については、職員による読み聞かせはほぼ毎日行うことができたが、ボランティアによる読み聞かせは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数を減らす等の対応を行った施設が多かった。感染症対策を行いながら、現在の取組を継続していく。【保育・幼稚園課】

### ○施策 3 学校等における子どもの読書活動の推進

#### 指標 8 : 「学校図書館図書標準」達成学校数の割合

- ・事業番号 17 「学校図書館の図書資料の充実」については、小学校及び中学校で実施率が 100% となった。学校司書と教科担任等がこまめに連絡を取り、要望に沿った図書・資料の充実を図っている。今後も現在の取組を継続し、子どもたちからの要望と、情報センターとしての図書館の役割とのバランスをとって、本を購入していく。【学校教育課、小中学校】
- ・事業番号 26 「ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置」(新規) については、東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、関連する本のコーナーを設置した。今後も、地域学習や国際理解のコーナーの展示を充実させていく。【小中学校、学校教育課】

### ○施策 4 市立図書館等における子どもの読書活動の推進

- ・事業番号 29 「子ども向け行事の実施及び保護者への啓発」については、おはなし会への参加者数が微増した。(R2:1,115 人→R3:1,322 人) 新型コロナウイルス感染症の影響で行事に参加できなかったり、図書館に出向くことができなかったりする子どもや保護者向けに、絵本や児童書を、テーマを設けて 5 冊セットにし、お楽しみセットとして貸し出した。行事参加者の増加を図るため、ホームページ、広報紙以外にも、SNS などの各種メディアを活用したイベント開催情報の発信の拡大を検討する。【市立図書館】

#### 指標 6 : 市立図書館おはなし会参加者数

- ・事業番号 33 「児童書コーナー『お話しの部屋』・『親子コーナー』の整備・充実」については、児童書蔵書数が増加した。(R2:232,982 冊→R3:240,169 冊) 毎年度、着実に計画的購入を実施しており、蔵書冊数は既に数値目標を上回っている。今後も事業を継続し、児童書の更なる充実を目指していく。【市立図書館】

#### 指標 4 : 市立図書館における児童書の蔵書冊数 (0~12 歳一人あたり)

- ・事業番号 44 「公民館講座等における読み聞かせ等の実施」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会や親子学級等が中止になったことから、実施した公民館・交流センターの数は少なかった。(R3:29 施設中 18 施設) 今後も、地域の読み聞かせ団体や子育てサークルと連携して引き続き実施していくとともに、それぞれの地域の実情に応じて、実施方法や参加者の募集方法を検討する。【公民館・交流センター、家庭・地域学びの課】

#### 指標 7 : 読み聞かせを行う市立公民館数 (割合)

- ・事業番号 45「図書館分室の整備及び利用促進」については、令和 2 年度と比較し、児童書貸出冊数が増加し、数値目標を上回った。(R2: 19, 696 冊→R3: 23, 624 冊) 公民館報、交流センターだより等による図書館分室の広報・周知活動を継続して実施するとともに、子ども向け図書の案内記事の掲載等を検討する。【公民館・交流センター、南部図書館、家庭・地域学びの課】

指標 5 : 図書館分室における児童書の貸出冊数

#### ○施策 5 関係機関の連携と普及啓発の促進

- ・事業番号 53「学校図書館に関する相談体制の整備」については、令和元年度に教員や司書からの個別相談に対して必要な支援を受けられるようにするための方針が決定し、学校と公立図書館の連携が進んでいる。公立図書館職員及び学校司書をメンバーとしたワーキンググループを開催しているほか、令和 3 年度は、学校司書の支部会で、本修理方法の研修会を開催した。今後も継続的に関係機関と協議を行い、支援体制の整備について更なる検討を行っていく。【市立図書館・学校教育課】
- ・事業番号 55「ICT を活用した子ども読書活動の啓発」（新規）については、ホームページ及び長野市子育て応援アプリ「すくすくナビ」を利用しておひぎで絵本事業の紹介を行った。現在は、ホームページ等の活用の上に留まっているため、新たな広報媒体での情報発信を検討する必要がある。【家庭・地域学びの課】